



第 4 号

令和6年3月22日発行
北海道札幌伏見支援学校

学校だより



「令和5年度が終わるにあたって」

北海道札幌伏見支援学校長 倉科辰男

今月上旬に小・中学部、高等部の卒業式が行われました。高等部三年生は十二年の学校教育を終え、社会へと旅立ちました。今後の人生に幸あれと願うばかりです。

さて、今年早々、石川県能登半島で大きな地震が発生し多くの方が被災されました。あらためて被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。その翌日には羽田空港での航空機の衝突事故が発生しましたが、乗務員の適切な対応により乗客乗員全員の命に別状がないところとなりました。航空会社の不断の非常時訓練が功を奏したのだと思います。また二月には、給食で提供されたうずらの卵がのどに詰まり、小学一年生が命を落とすという痛ましい事故がありました。あつてはならない事故を受け、即日本校の教職員に対し注意喚起をしたところです。このような事故を自分事として捉え、未然防止を含めた学校安全の徹底を図っていきたいと考えます。

昨年末に実施した学校評価がまとめられ、現在ホームページに掲載されています。協力いただいた保護者アンケートでは、多くの項目でA評価（十分である）という結果となりました。意見欄にも教職員に対する感謝の言葉が寄せられており、心の支えとなりました。ありがとうございました。

その中で、お子さんが「学校が好きで楽しんでいる」という記述がありました。年度初めの学校だよりで「登校は目当てを。下校は期待を。」と書きましたが、そのお子さんはきっと自分なりの目標をもって学校生活を送っていたのではないかと思います。「勉強」「学習」という言葉はどことなく窮屈なイメージがありますが、「知ること」「分かること」「発見すること」は本来うれしいことで、それは何歳になっても感じることです。「知る喜び」「分かる喜び」「できる喜び」が楽しい毎日を送る糧となるのだと思います。

これまでの本校へのご理解に感謝申し上げますとともに、来年度もご協力を賜りますようお願い申し上げます。





卒業式の様子

【小学部】

3月14日(木)に小学部第8回卒業証書授与式が行われました。小学部6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

卒業証書授与式では緊張しながらも、一人一人が立派にステージに上がり、証書を受け取ることができました。5年生からの温かいビデオメッセージやお祝いの言葉を受け、卒業生の言葉では図工で制作した絞り染めTシャツや学習発表会で踊ったダンス、大谷選手から寄贈されたグローブを使った投球を披露することができました。

この6年間で大きく成長を見せてくれた14名のみなさん、4月からは新中学1年生となります。これからも自分の得意なことをさらに伸ばして、益々飛躍していくことを期待しています。

【中学部】

中学部第3学年のみなさん、卒業おめでとうございます。3年前の4月に、緊張した面持ちで参加した入学式から早3年、沢山の友達や先生方と出会い、勉強や行事に参加しながら、日々成長していくみなさんを見守り、本日無事に卒業式を共に迎えることができたことを心より喜ばしく思います。

イメージが難しかった「卒業」という儀式行事でしたが、式の練習を重ねながら中学生が終わり高校生になるという意識が高まっていきましたね。それに伴って練習にも力が入っていったことを先生たちは感じていました。

式当日は、自分の中で一番の緊張と期待感を持って参加できました。堂々とした姿を見たお父さんやお母さんは、「一人じゃ・・・」「誰か付いていないと・・・」といった心配も、今日で一緒に卒業だねと安心できたのではないのでしょうか。

さて、4月からは新しい生活が始まります。新たな環境で、新たな仲間と共に、新たな経験を一杯楽しんでください。そうすれば素晴らしい高校生活になるはずです。先生方はいつでも見守り、応援しています。進め！札幌伏見支援学校中学部卒業生！！

【高等部】

3月8日(金)に高等部3学年の卒業証書授与式が行われました。高等部生活最後の日の晴れ舞台、学年一同で協力して練習に取り組みました。卒業式当日は、一人一人立派に卒業証書を受け取り、卒業証書を持って堂々と歩く姿は社会へ旅立つ力強さを感じました。

また、式終了後は保護者の方々と3年間の思い出を振り返ったり、生徒一人一人が保護者の方々に感謝の気持ちを伝えたりするなど、感動的なホームルームになりました。

4月からは社会人となり、それぞれの進路先での新しい生活が始まります。札幌伏見支援学校で学んだことを生かし、それぞれの道で様々な人との出会いから学び、さらに素敵な大人になることを期待しています。

高等部3学年の皆さん、御卒業おめでとうございます。



退職者・転出者御挨拶



※氏名後ろの()は、令和6年度勤務先です。

このたび雨竜高等養護学校へ異動することとなりました。本校では開校より8年間お世話になりました。子どもたち、先生方はもとより保護者の皆様、地域の皆様、コミュニティースクールの皆様など皆様に支えられて、とても充実した日々を送ることができました。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

教頭 鈴木 喬 (北海道雨竜高等養護学校)

このたび、人事異動により、北海道札幌聾学校へ異動することとなりました。令和3年度から3年間は保護者の皆様、児童生徒の皆さんには大変お世話になりました。短い間でしたがたくさんの思い出をつくることができました。4月からは新しい学校で勤務しますが、伏見での思い出を大切に頑張ります。皆さんお元気で。

事務長 吉田 修 (北海道札幌聾学校)

開校から8年間お世話になりました。開校時玄関前は土がむき出しの広場で、外遊具もなかった頃のことを思い出します。当時担任をしていた児童生徒が3月に高等部を卒業し、今年度は小6の卒業生を担当させて頂きました。経験を生かして新しい職場でも力を尽くしたいと思えます。ありがとうございました。

小学部 鬼塚 直樹 (北海道星置養護学校)

本校では開校より8年間お世話になりました。主に小学部低学年の担当と図工を担当し、子どもたちや保護者の皆様と正面から向き合った充実した毎日を送ることができました。4月からは東京で教師をすることになりました。先生方や関係機関の皆様には心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

小学部 村山 順子 (退職)

開校より8年間、小学部でお世話になりました。元気いっぱいな児童生徒の皆さんと温かさいっぱいな保護者の皆様に支えられながら、楽しく、そして充実した毎日を過ごすことができたこと、本当に感謝しています。札幌伏見支援学校で様々な経験を糧として、新天地でも頑張ります。これまでありがとうございました。

小学部 横幕 奈津子 (北海道真駒内養護学校)

2年間(再任用ハーフ)、小学部でお世話になりました。アクティブでパワー溢れ、成長著しい皆さんと過ごすことができて本当に幸せでした。共に学び、笑い、よく走りました。可能性と力を持つ皆さんが、この学校で益々、成長されることを願っています。ありがとうございました。

小学部 鎌田 泰子 (退職)

1年間という短い間でしたが、小学部3年生の皆さんと毎日楽しく過ごさせていただきました。これも保護者の皆様の支えがあってのことと思います。ありがとうございました。これからの伏見の子どもたちの成長を応援していきます。

小学部 村田 明子 (退職)

短い間でしたがお世話になりました。市電で乗車しての校外学習、校庭でのそり遊び、長い階段を往復した買い物学習などなど…元気いっぱいの小学部の皆さんと過ごした時間は私のにとっての宝物です。これからも充実した毎日が続きますように。心より応援しております。

小学部 稲荷山亜侑美 (退職)

このたび、北海道中標津支援学校へ異動することになりました。児童生徒の皆さんの頑張る姿や素敵な笑顔を見て過ごすことができた、充実した5年間でした。保護者の皆様には多くの御協力をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。新しい学校でも頑張ります。

中学部 中村咲稀 (北海道中標津支援学校)

今年一年間、中学部でお世話になりました。たくさんの思い出をありがとうございます。これから、進級・卒業する皆さんの幸多き人生を心から願っています。社会に出てお仕事に就かれる先輩方、伏見の後輩が入社してくるかもしれません。優しく仲良くしてあげてください。街で会ったとき覚えてくれると嬉しいです。

中学部 佐々木 聖雪 (退職)

本校では、7年間勤務し、小、中、高、すべての学部にも所属することができ、たくさんの児童生徒の皆さんと学習することができ、とても充実した教職生活を送ることができました。児童生徒の皆さんの更なる成長をお祈り申し上げ離任の言葉とします。ありがとうございました。

中学部 本庄 千尋 (退職)

1年間という短い時間でしたが驚きの連続の毎日でした。生徒の皆さんが日々成長する中で、楽しい思い出を沢山いただきました。伏見での思い出を忘れずに、頑張っていこうと思います。諸事情により表記が退職となっておりますがまた違う場所で教員を続けますので皆さんにまたどこかでお会いすることを願っております。本当にありがとうございました。

中学部 小笹 健太 (退職)

37年間の教員生活に区切りをつけ、新たな場所で仕事をする事になりました。伏見支援学校では、3年間という短い期間ではありましたが、児童生徒のみなさんをはじめ、保護者、地域の方々に支えられ、楽しい毎日をご過ごすことができました。本当にありがとうございました。

高等部 藤田 明宏(退職)

子どもたちの一人一人に向き合った教育を考える先生方、新しい教育を求める学校、元気いっぱいの子供たち、とても刺激的で、多くのことを学ぶことができた2年間でした。岩手に戻り、北海道の素晴らしさを伝える事が楽しみです。温かく接していただいた地域、保護者、職員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

高等部 小田島 五月(岩手県立花巻清風支援学校(北海道北東北三県教員人事交流))

3年ほど前のコロナでの消毒等の仕事で、伏見に縁をいただき、昨年4月から事務で働いておりました。高等部のお店屋さんでの買い物や、登校時や校内で会う中、顔見知りになり、皆さんから、元気をもらいながら過ごしました。ありがとうございました。どうぞ、元気で過ごしてくださいね。

非常勤主事 若松 香里(退職)

令和6年度 始業式・入学式について

4月 8日(月) 着任式・始業式(全校 11:30 下校)

4月 10日(水) 入学式(新1年生小・中 11:10 高 14:30 下校)
(在校生 小・中 13:20 高 14:55 下校)



○主な相談窓口(北海道)

| 名称 | 所管等 | 電話番号・メール | 受付 | 概要 |
|-------------------------------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 子ども相談支援センター (24時間子供SOSダイヤル) (メール相談) | 北海道教育委員会 (文部科学省) | 0120-3882-56 0120-0-78310 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp | 毎日24時間対応 | いじめ、不登校、友人関係、親子関係、LGBT、性被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関する事など、様々な悩みを相談できます。 |
| 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」 | 北海道保健福祉部 (厚生労働省) | 189 (いちはやく) | 毎日24時間対応 | 虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。 |
| 少年サポートセンター「少年相談110番」 | 北海道警察 | 0120-677-110 | 平日8:45~17:30 | いじめ・犯罪等の被害に悩む子どもやその家族が警察に相談できます。 |
| 子どもの人権110番 | 法務省 | 0120-007-110 | 平日8:30~17:15 | いじめ・体罰等について、法務局職員・人権擁護委員に相談できます。 |
| チャイルドラインほっかいどう | 認定NPO法人チャイルドライン支援センター | 0120-99-7777 | 毎日16:00~21:00(12/29~1/3除く) | 18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。 |
| 性暴力被害者支援センター北海道(SACRACH さくらこ) | 北海道、札幌市 | 050-3786-0799 または #8891 sacrach20191101@leaf.ocn.ne.jp | 平日10:00~20:00 (土日祝、12/29~1/3除く) | 子どもや大人が性暴力の被害について相談できます。 |
| こころの電話相談 | 北海道立精神保健福祉センター | 0570-064-556 | 平日9:00~21:00 土日祝10:00~16:00 | 様々な悩みを相談できます。 |
| 北海道いのちの電話 | 社会福祉法人 北海道いのちの電話 | 011-231-4343 | 毎日24時間対応 | 様々な悩みを相談できます。 |



北海道札幌伏見支援学校 〒064-8514 札幌市中央区伏見4丁目4番21号

電話(011)520-5003 FAX(011)520-5004

※学校行事、学習活動の様子等については学校「Webページ」を御覧ください。

学校webページ

